

ピロリ菌検査について

胃内に唯一生息する細菌で正式名称は「ヘリコバクター ピロリ」です。

若年者はあまり感染しておらず、50歳以上の方の70～80%に感染しているといわれています。（衛生状態が関連しているといわれています）

胃の壁を傷つけたり、防御するための粘液産生を減少させたりすることで様々な胃の病気の原因と考えられています。

ピロリ菌に感染したからといって、潰瘍や胃癌が必ず発症するわけではありません。

しかし、感染したほとんどの人に胃炎がおこります。除菌しない限り、ピロリ菌は胃の中にすみ続け慢性的炎症が続き、胃の粘膜を防御する力が弱まり、ストレスや塩分の多い食事、発癌物質などの攻撃を受けやすい無防備な状態となります。

感染が確認された方々は内服の治療で除菌することによってこれら（胃炎や胃潰瘍、胃癌など）の疾患に罹患する可能性が劇的に減少すると考えられています。（除菌療法）

当院では、上部内視鏡検査（胃カメラ検査）時に組織を採取しピロリ菌の有無を確認する事が出来ます。またピロリ菌感染が確認された方々は除菌療法を行うことが可能です。

検査ご希望の方はご相談ください。

